

Y.U.

名前のない時間

予定を失って、歩きに出たわたしに
世界は極上の風景をくれた

夕空は、さざめく緑は、遠い山の端は
こんなにも美しかったろうか

いったいわたしは、何を急いでいたのだろう

花たちもまた
自分に名前がつけられているとは知らず
ただ咲いている
ただ咲いている

そのうちに、わたしも、わたしですらなくなり
ここも宇宙であったと思ひ出す